

# 自社が異業種参入して 農業経営を黒字化した実績を元に 大規模施設園芸を中心とした農業事業の 立ち上げから運営に伴走します。

既存事業の  
付加価値向上

SDGs推進

自治体との  
関係強化

従業員  
雇用対策

企業PR

<大和フード&アグリの伴走型農業コンサルティングサービス範囲>



## 参入検討

- 参入ストーリーの組成
- 事業構想立案
- 将来の姿の描出
- 撤退条件の想定



## 参入準備

- 事業計画の策定
- 生産候補地/パートナーの探索・選定、生産品目・品種の決定
- 地権者・自治体との交渉、補助金探索・取得
- 設備設計、建設・資機材納入管理
- 人材募集・育成



## 生産

- 生産計画作成
- 栽培技術維持・向上
- 認証取得・更新
- 作業・労務管理



## 販売・マーケティング

- 販売・営業戦略作成
- 商品企画
- 販売・営業・需給調整
- 物流構築
- 加工品開発

※その他、農業生産設備の売却にかかるご相談にも対応が可能です

## 大和フード&アグリ(DFA) 概要

- 大和証券グループの、外部環境に左右されにくい強固な収益基盤確立のためのビジネスポートフォリオ拡充の一環として、「持続可能な農業」を実現すべく2018年に設立(大和証券グループ本社100%子会社)。
- 設立以来、(株)みらいの畑から(大分県玖珠町)、(株)スマートアグリカルチャー磐田(SAC磐田:静岡県磐田市)、(株)北海道サラダパプリカ(北海道釧路市)に順次経営参画し、トマト・パプリカの生産・販売を展開。2023年に自社ブランド「栄養のおくりもの」を立ち上げ。
- 農業界に新たな投資アセットを創出するべく、農業ビジネスの立ち上げ・事業拡大を「金融×農業」の観点からサポート。



### トマト

① (株)みらいの畑から(大分県)



### パプリカ

② (株)SAC磐田(静岡県)



③ (株)北海道サラダパプリカ(北海道)



### 自社独自ブランド

栄養のおくりもの



お問合せ先

大和フード&アグリ株式会社  
生産部

〒100-6724 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
Email: dfa\_info@daiwa.co.jp Webサイト: <https://www.daiwa-grp.jp/dfa/>



<コンサルティングサービスの事例>

事例 ①

参入準備  
生産  
販売

- 新規事業として果菜類の生産・販売事業に関心。
- 設備建設後の栽培技術導入、人材育成を継続的に支援するとともに、生産品の一部をDFAグループにて買い取り、販売。
- 参入後1年で黒字化を達成、追加投資を決定し、第二圃場を建設、生産規模を拡大。
- 拡大した事業に対しても継続的に栽培技術高度化、買取販売支援を実施。

事例 ②

参入検討

- 新規事業として大規模温室での農業生産・販売事業に関心。
- 生産開始後を想定した販売戦略の立案を支援。ECサイトや営業体制充実による自社販売戦略を具体化。
- 生産に向けた助成金申請、導入設備高度化、人材採用から教育に係るアドバイスを実施し生産開始準備に伴走。

事例 ③

生産  
販売

- 農業事業の改善が課題。
- 生産・販売・経営管理の三つの観点から課題を洗い出し、解決の方向性を提案。
- 単位面積当たり生産量アップの具体的対策と、販売コストダウンのための方針をアドバイスし、黒字化予算と詳細な事業目標作成、予実管理の仕組みづくりに伴走。

事例 ④

参入準備

- 農業団地の開発・運営に関心。
- DFAの果菜類生産・販売事業黒字化の経験に基づき、詳細収支計画作成に伴走。
- 農業団地に入居、事業運営する事業者を想定し、入居メリットを数値に基づいて整理。
- 農業団地建設に活用できる助成金の情報を収集し、活用方法について助言。

<コンサルティングサービスチーム>



久枝 和昇

DFA代表取締役社長・生産部長  
SAC磐田代表取締役社長  
みらいの畑から代表取締役社長

■ 略歴

岡山大学大学院農学研究科(修士)、愛媛大学大学院連合農学研究科(博士)修了。農機メーカーでの農業プラント設計施工経験を経て、2000年当時日本最大規模(8.5ha、トマト)の高度環境制御温室事業を立ち上げ、国内外の複数企業で栽培技術コンサルティング、野菜生産販売事業立ち上げに従事。愛媛大学客員教授。

■ 得意とする分野

- 事業参入から日次オペレーションに至る、大規模高度環境制御温室による農業生産事業の構築・運営
- 大規模高度環境制御温室の設備コンセプト設計
- 行政(省庁・自治体)との関係構築



藤田 葵

DFA生産部副部長

■ 略歴

大手コンサルティングファームを経て、植物工場スタートアップにて事業開発、農業人材育成に携わる。生産子会社(閉鎖型植物工場)の代表取締役、工場長を経験。DFAでは中計策定、マーケティング・商品企画を担当し、現在コンサルティング事業責任者。東京大学(修士)、政策研究大学院大学(修士)、現在京都大学農学研究科博士後期課程在籍中。

■ 得意とする分野

- 新規事業企画
- 中期経営計画策定
- 認証取得(AsiaGAP、GGAP)(AsiaGAP指導員)
- 販売戦略、マーケティング、商品企画



上村 翔

DFA事業部長  
SAC磐田代表取締役副社長  
みらいの畑から取締役  
北海道サラダパブリカ代表取締役社長

■ 略歴

大学院で植物分子生物学の修士号を取得後、複数の企業で高度環境制御温室の立ち上げ、栽培責任者を担当。SAC磐田ではパブリカハウス等(合計3ha)の立ち上げを担い、冬作の日本最高生産量を達成。DFAによるSAC磐田買収後は農場長として会社運営を担い、翌年度黒字化を達成。中小企業診断士(2018年～)。

■ 得意とする分野

- 環境制御型ハウスの運営
- 生産プロセス/仕組の構築
- 人材育成(生産管理者、パート)
- 機能性表示、GGAP取得



濱里 亮平

DFA生産部 上席課長代理  
みらいの畑から農場長

■ 略歴

東京農工大学を卒業後、農業生産法人(葉物)にて7年間栽培責任者を担当。拠点農場の拡大、人材育成、運営体制構築に従事。その後、環境制御型温室での夏秋トマト生産(最大2ha)の栽培責任者を担当。みらいの畑から農場長として、大手量販店との契約栽培を行い、品質基準(糖度基準など)をクリアしながら年間を通しての出荷を実施。2023年度より高精度ミニトマトを生産、自社ブランドで販売。

■ 得意とする分野

- 環境制御型ハウスの運営
- 生産プロセス/仕組の構築
- 環境制御型ハウスでのトマト生産(主に夏秋)
- 人材育成(生産管理者、パート)